

平成30年7月24日

## 第1学期学校評価にかかる学校改善について

学校改革推進委員会

H30. 7. 20、教職員を対象に、第1学期学校自己評価を実施した。  
各項目を、各自「4～1」までの数字で評価。  
3以上の項目を成果、3未満の項目を課題と捉えた。  
その中でも、特に顕著なものを取り上げ、成果と課題をまとめた。

### 1 成果

- ・学校教育目標に向けて具体的に実践した。 3. 3
- ・クラブ活動を通して協力してより良いクラブ作りに参画しようとする自主的態度を育てている。 3. 3
- ・代表委員会を通してより良い学校づくりに参画し自主的実践的な態度を育てている。 3. 4
- ・集会活動は適切になされている。 3. 3

### 2 課題

- ・職員会議では共通理解が図られ効率的に行われている。 2. 7
- ・勤務の適正化が図られている。 2. 3
- ・基本的な生活習慣が身についている。 2. 7
- ・福祉教育は適切に行われ福祉の心を育てている。 2. 7
- ・家庭・地域との連携<人材活用> 2. 5

### 3 まとめ

- ・学校教育目標に向けての実践ができている。
- ・クラブ・代表委員会・集会活動などは、評価が高い。継続・発展させる。
- ・職員会議の効率化、勤務の適正化に向けた業務改善等をさらに推進する必要がある。
- ・児童の基本的な生活習慣を形成するための具体的な取組が必要である。
- ・福祉教育、人材活用については、特に評価が低い。2学期以降、改善策を練って取り組む。
- ・「取組の見える化」が必要である。評価の低い項目については、何らかの目に見える取組を考えることが必要。もう少し努力すれば3以上になる項目が多い。各自意識して取り組む。